

## 長崎大学附属図書館（中央図書館） 玉木鶴亭・関係資料目録

平成 27 年 3 月 30 日

タイトルに付している \* は、「玉木家記」の玉木鶴亭書画目録から引用したものである。

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
1	鶴亭 下絵① 「長崎全景(下絵)」* 軸表に「長崎港内」鶴亭 下絵と記されている。	タテ 36.7 cm ヨコ 356.8 cm	紙本墨画 一軸	無	不明	唐館図と長崎港図の二図が貼り合わされている。 「玉木学園百年誌」121 頁 画像掲載
2	鶴亭 下絵② 「輸入品陸揚図(下絵)」 軸表に「唐人船荷揚図」下絵と記されている。	タテ 616.3 cm ヨコ 33.1 cm	紙本墨画 一軸	無	天保 6 年 (1835)	2014 年 10 月 長崎大学総合環境 第 17 巻 第 1 号 「玉木鶴亭「唐人船荷揚図」— 天保 6 年(1835)記録絵図に ついての考察 —」砂崎素子編に掲載 唐船掛宿町筆者 本役時代に制作
3	鶴亭 下絵③ 「唐人蛇踊図」* 軸表に「長崎管内天后宮前蛇踊図」下絵と記されている。	タテ 96.5 cm ヨコ 107.7 cm	紙本墨画 一軸	無	天保 15 年 (1844)か	NO.4 の画中の旗に天保 15 年 3 月 10 日の文字が見える。 色名の書き込みもされている。 下絵③④⑤は、体裁と画風が酷似しているため、ほぼ同時 期の制作年であることが考えられる。 また、カナで色名の書き込みもされている。 唐船掛宿町筆者 本役時代に制作
4	鶴亭 下絵④ 「瓊杵山舩揚図」* 軸表に「長崎金毘羅山舩上図」下絵と記されている。	タテ 95.5 cm ヨコ 107.7 cm	紙本墨画 一軸	無	天保 15 年 (1844)か	
5	鶴亭 下絵⑤ 「出島荷揚図」* 軸表に「長崎出島之図」下絵と記されている。	タテ 96.5 cm ヨコ 107.7 cm	紙本墨画 一軸	無	天保 15 年 (1844)か	
6	鶴亭 下絵⑥ 「梅香崎より雄浦並ノ平迄開地 館舎取建諸蛮居 住所見取正図」*	タテ 126.0 cm ヨコ 26.6 cm	紙本墨画 一軸	署名有	元治元年 (1864)か	現在の長崎市梅香崎～大浦～波ノ平あたりまでが描かれて いる。崎陽鶴亭の署名あり 唐船掛宿町筆者 頭取時代に制作
7	鶴亭 下絵⑦ 「百酔図」*	タテ 179.5 cm ヨコ 47.5 cm	紙本墨画 一幅	印有 署名有	不明	鶴亭の押印、画の下部に鶴亭 崎陽の署名あり

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
8	鶴亭 模写①石崎融思画 「石崎融思筆鶴亭模写長崎十二景及唐蘭人画」 (18 図)*	タテ 28.3 cm ヨコ 20.6 cm	彩色折本 一冊	無	天保 8 年 (1837)以降か	石崎融思は、江戸時代後期の長崎唐絵目利である。 唐船掛宿町筆者本役時代に制作
9	鶴亭 模写②王翬 <sup>おうき</sup> 画 「王翬字石谷山水十帖」*	タテ 40.5 cm ヨコ 30.3 cm	淡彩 布折本 一冊	無	天保 6 年 (1835)	王翬(1632~1717)は、中国の画家 字は石谷、号は清暉主人などがある。 南画と北宋画にすぐれ、画聖と称されている。
10	鶴亭 模写③沈南蘋 <sup>しんなんびん</sup> 画 「動物花鳥図(18 図)」*	タテ 34.7 cm ヨコ 45.5 cm	彩色 布折本 一冊	印有 署名有	嘉永 6 年 (1853)	沈南蘋(1682~?)は、中国清代の画家。長崎に 2 年間弱滞在し、写生的な花鳥画の技法を伝えた。弟子の熊代熊斐らが南蘋派を形成。「玉木学園百年誌」119 頁 画像掲載 唐船掛宿町筆者 本役時代に制作
11	鶴亭 模写④宋紫岩 <sup>そうしがん</sup> 画 「司馬光」*	タテ 206.0 cm ヨコ 87.0 cm	紙本彩色 一軸	印有	不明	宋紫岩(宋嶽)は、~1760 年 中国の画家。宝暦 8 年(1758)に長崎に渡航。沈南蘋の弟子とされる。宝暦 10 年に長崎で死去。宋紫石(日本人)は、宋紫岩の弟子にあたる。
12	鶴亭 粉本 日本画① 「蘆雁図」	大 タテ 69.9 cm×ヨコ 40.6 cm 小 タテ 38.3 cm×ヨコ 27.6 cm	半紙墨画 大一幅・小一幅	無	不明	蘭亭と読める印が押されている。
13	鶴亭 粉本 日本画② 「七福神」	タテ 78.1 cm ヨコ 38.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	カナで色名の書き込みがされている。
14	鶴亭 粉本 西洋画(人物)① 「男性画 デッサン」	タテ 17.0 cm ヨコ 19.0 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	描かれている洋装から、男性は商館長クラスと思われる。 劣化大
15	鶴亭 粉本 西洋画(人物)② 「婦人画 I」	タテ 38.4 cm ヨコ 27.6 cm	半紙墨画 一幅	印有 (判読不明)	不明	婦人にネックレスを付けていると思われる図
16	鶴亭 粉本 西洋画(人物)③ 「婦人画 II 花の頭飾り」	タテ 25.2 cm ヨコ 34.0 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	花飾りを付けた婦人画 首から上の図であるが、おそらく、その下の続きがあるのだろう。
17	鶴亭 粉本 西洋画(人物)④ 「婦人画 III 真珠の首飾りと頭飾り」	タテ 39.7 cm ヨコ 27.1 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	色名の書き込みあり。 劣化大

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
18	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑤ 「婦人画 IV 顔面彩色図」	タテ 28.0 cm ヨコ 38.5 cm	半紙墨画(部分彩色) 一幅	無	不明	色付けの仕方の解説あり。 顔面の部分が彩色されている。
19	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑥ 「西洋理髪」	タテ 27.3 cm ヨコ 19.0 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	劣化大 西苦楽が1800年頃に描いた西洋理髪店の風景に「蘭医頭部 外科手術図」と名付けられているものがある。構図に違い がみられるが、興味深い。
20	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑦ 「男性と楽器」	タテ 39.5 cm ヨコ 26.8 cm	半紙墨画 一幅	印有 (判読不明)	不明	弦楽器・金管楽器が描かれている。
21	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑧ 「笛吹きの練習」	タテ 30.3 cm ヨコ 27.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	
22	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑨ 「手紙を読む男女」	タテ 37.6 cm ヨコ 26.9 cm	半紙墨画 一枚	無	不明	劣化大
23	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑩ 「木陰の男女 I」	タテ 27.0 cm ヨコ 39.8 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	「木陰の男女 I、II」に描かれている人物がよく似ている が、左右逆に描かれている。ガラス絵の下絵であろう。 劣化大
24	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑪ 「木陰の男女 II」	タテ 27.0 cm ヨコ 47.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	「木陰の男女 I、II」に描かれている人物がよく似ている が、左右逆に描かれている。ガラス絵の下絵であろう。 劣化大
25	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑫ 「婦人肖像画と釣人の図」	タテ 27.0 cm ヨコ 39.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	婦人肖像画は、ミニチュアール(楕円形のフレーム)に収める 画であろう。釣人の図は、N0.26 と左右逆に描かれている。 ガラス絵の下絵であろう。劣化大
26	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑬ 「釣人」	タテ 28.0 cm ヨコ 29.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	N0.25 の釣人の図とと左右逆に描かれている。ガラス絵の 下絵であろう。 劣化大
27	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑭ 「帆船と人」	タテ 26.6 cm ヨコ 39.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	色名の書込みあり 劣化大

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
28	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑮ 「海辺と人・手の動作図など」	タテ 27.8 cm ヨコ 39.0 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	色名の書込みあり 劣化大 No.34 に描かれている洋館と酷似している。
29	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑯ 「人と洋館」	タテ 38.5 cm ヨコ 27.5 cm	半紙墨画 一幅	印有 (判読不明)	不明	印は、おそらく鶴亭の号の錦港であると思われる。
30	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑰ 「婦人と使用人」	タテ 27.9 cm ヨコ 38.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	劣化大
31	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑱ 「ナポレオン征服」	タテ 38.0 cmヨコ 27.7 cm タテ 38.0 cmヨコ 27.8 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	2枚続き画
32	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑲ 「ルイス・バーナード画 粉本」	タテ 38.5 cm ヨコ 27.6 cm	半紙墨画 一幅	印有	不明	ルイス・バーナード(1741~1817)は、オランダ・フランスなどで活動した画家。
33	鶴亭 粉本 西洋画(人物)⑳ 「ボワイ画 粉本」	タテ 38.9 cm ヨコ 27.5 cm	半紙墨画 一幅	印有	不明	ルイ＝レオポルド・ボワイ(1761~1845)は、フランスの画家である。川原慶賀の絵画に、ボワイの模写とされるものがある。
34	鶴亭 粉本 西洋画(風景)① 「水平線からの日の出」	タテ 38.5 cm ヨコ 27.7 cm	半紙墨画 一幅	印有 (判読不明)	不明	No.28 に描かれている洋館と酷似している。
35	鶴亭 粉本 西洋画(風景)② 「荒波の中の帆船」	タテ 19.5 cm ヨコ 26.0 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	劣化大
36	鶴亭 粉本 西洋画(風景)③ 「洋館と帆船」	タテ 26.9 cm ヨコ 39.4 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	
37	鶴亭 粉本 杜堇画 「西王母図」	タテ 80.0 cm ヨコ 64.5 cm	半紙彩色 一幅	無	不明	杜堇(生没不詳)は、中国の人で、明代中期の 1465 年から 1509 年の間に活動したとされる。 東京国立博物館所蔵の荒木千州の「西王母図」と酷似している。西王母は、中国で古くから信仰された仙女とされる。

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
38	鶴亭 粉本 沈南蘋画① 「威震八荒図」	タテ 129.2 cm ヨコ 44.0 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	沈南蘋(1682~?)は、中国清代の画家。長崎に2年間弱滞在し、写生的な花鳥画の技法を伝えた。弟子の熊代熊斐らが南蘋派を形成。東京国立博物館所蔵の荒木千州の「威震八荒図」と酷似している。
39	鶴亭 粉本 沈南蘋画② 「木本花頭起手式1 五瓣花頭」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	梅・杏・梨など4種の花が描かれている。五瓣は、5枚の花びらのこと
40	鶴亭 粉本 沈南蘋画③ 「木本花頭起手式2 大瓣八九瓣花頭」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	木蓮・山茶花・枇杷など4種の花が描かれている。
41	鶴亭 粉本 沈南蘋画④ 「木本花頭起手式3 多瓣花頭」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	海棠・桃など4種の花が描かれている。
42	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑤ 「木本花頭起手式4 牡丹大花頭」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	牡丹の側面・正面などが描かれている。
43	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑥ 「木本花頭起手式5 刺花藤花花紅」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	月季花(すももの花)など4種の花が描かれている。
44	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑦ 「木本花頭起手式6 梅花」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	29の様々な梅の花・蕾が描かれている。
45	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑧ 「木本花頭起手式7 梅花枝」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	9の様々な枝付きの梅が描かれている。
46	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑨ 「木本各花葉起手式1 尖葉長葉」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	石榴など5種の葉が描かれている。
47	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑩ 「木本各花葉起手式2 刺花毛葉」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨線 一幅	無	不明	薔薇・月季(すもも)・玫瑰の3種の葉が描かれている。

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
48	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑪ 「木本各花葉起手式3 耐寒厚葉」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	山茶など4種の葉が描かれている。
49	鶴亭 粉本 沈南蘋画⑫ 「木本各花葉起手式4 牡丹岐葉」	タテ 23.8 cm ヨコ 33.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	4種の葉が描かれている。
50	鶴亭 粉本 鄭高画 「花木と鳥」	タテ 35.7 cm ヨコ 37.3 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	鄭高は、沈南蘋の弟子で、沈南蘋とともに享保16年(1731)に長崎へ渡航したとされる。 色名の書き込みあり
51	鶴亭 粉本 熊斐明画 「三千歳の桃」	タテ 27.6 cm ヨコ 39.8 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	熊斐明の父は、沈南蘋の画風を広めた熊代熊斐である。明は、熊代熊斐の三男である。 三千歳の桃は、漢の武帝が西王母からもらったものという。 三千年に一度、花が咲いて実を結ぶという不老長寿の桃
52	鶴亭 粉本 中国画① 「祈祷・唐子童子」	タテ 31.4 cm ヨコ 107.0 cm	半紙淡彩・墨画 一幅	無	不明	祈祷の図と唐子童子の2図の構成 祈祷の図は、淡彩画
53	鶴亭 粉本 中国画② 「文王尋渭濱値太公望図」	タテ 39.8 cm ヨコ 105.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	色名の書き込みあり 周文王が大公望を迎える図と考えられる。
54	鶴亭 粉本 中国画③ 「馬の手入れ1 手ぐし」	タテ 52.5 cm ヨコ 37.8 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	図の右上に第三と記載されている。
55	鶴亭 粉本 中国画④ 「馬の手入れ2 歯並び検査」	タテ 52.5 cm ヨコ 37.8 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	
56	鶴亭 粉本 中国画⑤ 「馬の手入れ3 散歩」	タテ 52.5 cm ヨコ 37.8 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	図の右上の文字は、五であろう。
57	鶴亭 粉本 中国画⑥ 「馬の手入れ4 水やり」	タテ 52.5 cm ヨコ 37.8 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	図の右上に〇六と記載されている。 〇は、おそらく第と記されているのだろう。

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
58	鶴亭 粉本 花鳥図 「オウムと木蓮」	タテ 32.4 cm ヨコ 24.5 cm	半紙墨画 一幅	無	不明	
59	鶴亭 粉本 薬草図① 「センナなどの薬草3種」	タテ 27.8 cm ヨコ 38.5 cm	半紙淡彩 一幅	無	不明	色名の書き込みあり 花・葉・茎・根などの特徴が記されている。
60	鶴亭 粉本 薬草図② 「ハマナスなどの薬草4種」	タテ 27.8 cm ヨコ 38.5 cm	半紙淡彩 一幅	無	不明	
61	鶴亭 粉本 薬草図③ 「サフランなどの薬草5種」	タテ 27.8 cm ヨコ 38.5 cm	半紙淡彩 一幅	無	不明	
62	鶴亭 粉本 爬虫類図 「雌雄白蛇」	タテ 25.5 cm ヨコ 37.6 cm	半紙彩色 一幅	無	不明	
63	鶴亭 粉本 鳥図 「雌雄孔雀」	タテ 107.5 cm ヨコ 47.0 cm	半紙彩色 一幅	無	不明	色名の書き込みあり
64	鶴亭 写本 茶道書① 「千家 茶道主客手續其他心得大意」*	タテ 24.0 cm ヨコ 16.7 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表表紙・第1丁表から第64丁裏・裏表紙 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
65	鶴亭 写本 茶道書② 「花寄」	タテ 21.1 cm ヨコ 13.8 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第4丁裏・裏表紙 花寄は、客人が順番に、花入れに花を活けていくお点前 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
66	鶴亭 写本 茶道書③ 「七事式1 廻花」	タテ 28.3 cm ヨコ 20.6 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第4丁裏・裏表紙 七事式とは、茶の湯の修練のための作法 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
67	鶴亭 写本 茶道書④ 「七事式2 花月」	タテ 21.3 cm ヨコ 13.7 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第23丁裏・裏表紙 花月は、七事式の中で一番厳格な作法とされている。 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
68	鶴亭 写本 茶道書⑤ 「七事式3 且座」	タテ 21.3 cm ヨコ 13.7 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第14丁裏・裏表紙 且座は、七事式の中で中間の作法とされている。 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
69	鶴亭 写本 茶道書⑥ 「七事式4 一二三」	タテ 21.2 cm ヨコ 13.7 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第19丁裏・裏表紙 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
70	鶴亭 写本 茶道書⑦ 「七事式5 廻炭」	タテ 21.1 cm ヨコ 13.7 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第11丁裏・裏表紙 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
71	鶴亭 写本 茶道書⑧ 「七事式6 茶カフキ」	タテ 21.1 cm ヨコ 13.6 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第14丁裏・裏表紙 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
72	鶴亭 写本 茶道書⑨ 「七事式7 数茶」	タテ 21.1 cm ヨコ 13.6 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・第1丁表から第13丁裏・裏表紙 数茶は、七事式の中で最もくつろいだ作法とされている。 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
73	鶴亭 写本 茶道書⑩ 「茶方寸法書」	タテ 29.3 cm ヨコ 13.8 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	表紙・中表紙・第1丁表から第35丁裏・中裏表紙・裏表紙 「玉木学園百年誌」122頁 画像掲載
74	鶴亭 写本 華道書① 「御立華之図」*	タテ 26.0 cm ヨコ 19.7 cm	美濃紙綴本 一冊	無	文政3年 (1821)	彩色挿図 表紙・第1丁表から第14丁裏・裏表紙 池坊家元らにより刊行された「新刻瓶華容導集」の写本であらう。文政3年辰11月写 玉木氏 と記されている。 唐船掛宿町筆者 見習時代に制作
75	鶴亭 写本 華道書② 「正風立華集二冊之内」	タテ 25.8 cm ヨコ 19.6 cm	美濃紙綴本 一冊	無	文政3年 (1821)	墨線挿図 N0.74「御立華之図」の下書きか？ 表紙・第1丁表から第17丁裏・裏表紙 文政3年辰11月写 玉木氏 と記されている。 唐船掛宿町筆者 見習時代に制作
76	鶴亭 写本 華道書③ 「御立華図」*	タテ 26.1 cm ヨコ 19.9 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	墨線挿図 N0.74「御立華之図」の下書きか？ 表紙・第1丁表から第27丁裏・裏表紙
77	鶴亭 写本 華道書④ 「生花伺書写」	タテ 24.5 cm ヨコ 17.1 cm	半紙綴本 一冊	無	文久4年 (1864) 初春	墨書と朱書きによる解説書 表紙・第1丁表から第6丁裏・裏表紙 豊後より家元へ悠々堂焼と記されている。 唐船掛宿町筆者 頭取時代に制作

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
78	鶴亭 編述 図画教育資料① 「図画指南」*	タテ 24.4 cm ヨコ 17.0 cm	半紙綴本 一冊	署名有	明治7年 以降か (1874)	表紙・第1丁表から第17丁裏・裏表紙 第1号から第6号までは図画教育指導法・第7号 油絵画法 第8号 ガラス絵製法・第9号 油絵道具・第10号 絵具に ついて、記されている。「玉木学園百年誌」118頁 画像掲載 旧官立長崎師範学校図画教員時代に制作
79	鶴亭 編述 図画教育資料② 「百科図帳」	タテ 30.5 cm ヨコ 24.0 cm	半紙綴本 一冊	無	不明	鳥類42種・魚類52種・単語図60種が、描かれている。 劣化大
80	鶴亭 日本画① 「鴨 一羽」	タテ 148.0 cm ヨコ 51.3 cm	紙本水墨 一軸	無	不明	
81	鶴亭 日本画② 「鴨 二羽」	タテ 148.0 cm ヨコ 51.3 cm	紙本水墨 一軸	無	不明	
82	鶴亭 日本画③ 「鴨 四羽」	タテ 158.5 cm ヨコ 92.5 cm	絹本淡彩 一軸	印有 署名有	不明	
83	鶴亭 日本画④ 「岩国の三枚橋」	タテ 119.5 cm ヨコ 82.0 cm	紙本水墨 一軸	印有	不明	
84	鶴亭 日本画⑤ 「観世音菩薩」*	タテ 237.0 cm ヨコ 104.7 cm	紙本淡彩 一軸	無	不明	「玉木学園百年誌」120頁 画像掲載
85	鶴亭 西洋油彩画① 「牧牛」*	タテ 39.5 cm ヨコ 26.8 cm	紙本油彩 一幅	無	天保年間以降 (1830年以降)	木製の額縁の裏に‘出品人 清河武安’と記されている。 清河武安は、明治時代の長崎の写真家である。 唐船掛宿町筆者 本役時代に制作 「玉木学園百年誌」115頁 画像掲載
86	鶴亭 西洋油彩画② 「諸人種之画像」*	タテ 94.0 cm ヨコ 26.2 cm	紙本油彩 一軸	印有	安政5年 (1858) 2月	五大洲のそれぞれの人種の顔が描かれている。 唐船掛宿町筆者 小頭時代に制作 「玉木学園百年誌」118頁 画像掲載
87	鶴亭 西洋油彩画③ 「泰西風景」	タテ 44.2 cm ヨコ 64.5 cm	紙本油彩 一幅	無	不明	

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
88	鶴亭 沈南蘋派画① 「福海無邊図(鶴)」*	タテ 175.0 cm ヨコ 67.0 cm	絹本淡彩 一軸	印有	慶応3年 (1867) 冬	玉木リツ編の教科書の表紙に使用されている。 「玉木学園百年誌」120頁 画像掲載 税官吏時代に制作
89	鶴亭 沈南蘋派画② 「松鶴」*	タテ 202.0 cm ヨコ 73.3 cm	絹本淡彩 一軸	印有	不明	
90	鶴亭 沈南蘋派画③ 「嘯虎競威之図」*	タテ 191.0 cm ヨコ 53.3 cm	絹本水墨 一軸	印有	明治元年 (1868) 10月	税官吏時代に制作 林雲達(雲)の書あり 林雲達は、書に堪能な商人とされている。文久3年(1863) に長崎に渡航、明治16年頃まで滞在し、文人墨客らと交流 を重ねていたとされる。
91	鶴亭 沈南蘋派画④ 「枯木に鷹」*	タテ 203.5 cm ヨコ 47.3 cm	紙本水墨 一軸	無	不明	
92	鶴亭 中国画① 「唐婦人」*	タテ 39.0 cm ヨコ 177.0 cm	紙本彩色 四軸対	印有	不明	西施浣紗(春秋時代)・趙飛燕(前漢)・蔡文姬(後漢)・楊貴妃(唐) の4名の唐婦人が描かれ、四軸対で木箱に納められている。
93	鶴亭 中国画② 「天門飛帆」*	タテ 177.0 cm ヨコ 63.5 cm	紙本淡彩 一軸	印有	不明	天門は、長崎の天門峯を指しているのであろう。 「玉木学園百年誌」116頁 画像掲載
94	鶴亭 南画① 「雪溪図 1」	タテ 118.0 cm ヨコ 45.3 cm	絹本水墨 一軸	印有	安政5年 (1858)	唐船掛宿町筆者 小頭時代に制作
95	鶴亭 南画② 「蘆山三遇」*	タテ 206.5 cm ヨコ 106.6 cm	絹本水墨 一軸	印有	文久元年 (1861) 梅月	唐船掛宿町筆者 頭取時代に制作
96	鶴亭 南画③ 「春景色山水」	タテ 163.0 cm ヨコ 115.5 cm	絹本水墨 一軸	印有	元治元年 (1864)	唐船掛宿町筆者 頭取時代に制作 木箱の表に 鶴亭春景色山水ノ図と記されている。
97	鶴亭 南画④ 「山水」* (竹溪仙館)	タテ 200.0 cm ヨコ 55.7 cm	紙本水墨 一軸	印有	明治5年 (1873) 12月	「玉木家記」の目録に山水と記されていたが、画中の題 「竹溪仙館」を副題とする。 上海遊学中か遊学後に制作

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
98	鶴亭 南画⑤ 「雪溪図 2」	タテ 188.0 cm ヨコ 57.0 cm	紙本水墨 一軸	印有	明治5年 (1873)	上海遊学中か遊学後に制作
99	鶴亭 南画⑥ 「茆屋一間亭 山水」*	タテ 186.0 cm ヨコ 59.4 cm	紙本水墨 一軸	印有	明治12年 (1879)	鶴亭の遺作
100	鶴亭 南画⑦ 「小樹賞雪」	タテ 14.0 cm ヨコ 36.0 cm	紙本水墨 一軸	印有	明治12年 (1879)	鶴亭の遺作
101	鶴亭 南画⑧ 「座看雲起時」*	タテ 193.3 cm ヨコ 40.0 cm	紙本水墨 一軸	印有	不明	
102	鶴亭 南画⑨ 「山水風景 1」	タテ 28.0 cm ヨコ 32.8 cm	紙本水墨 一幅	印有	不明	
103	鶴亭 南画⑩ 「溪亭賞雨」	タテ 121.0 cm ヨコ 36.6 cm	紙本水墨 一軸	無	不明	
104	鶴亭 南画⑪ 「夏山涉秀」	タテ 29.4 cm ヨコ 16.5 cm	紙本水墨 一幅	印有	不明	
105	鶴亭 南画⑫ 「山水風景 2」	タテ 62.5 cm ヨコ 28.5 cm	絹本水墨 一幅	印有	不明	
106	鶴亭 南画⑬ 「鶴亭小品」*四冊セット	タテ 18 cm ヨコ 59.4 cm	折本水墨 四冊	印有	不明	第一冊に 12 画・第二冊に 14 画・第三冊 18 画・第四冊に 18 画 計 62 画 木箱入り
107	鶴亭 南画⑭ 「清溪放竿」	タテ 14.0 cm ヨコ 36.0 cm	紙本彩色 一冊	印有	不明	

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
108	鶴亭 初孫節句 お祝い画① 「福禄寿」	タテ 343.0 cm ヨコ 115.0 cm	絹本彩色 一軸	印有	慶応3年 (1867)	初孫 永久の初節句に描かれたもので、林雲達の書と鶴亭の画によるお祝い画である。
109	鶴亭 初孫節句 お祝い画② 「武者」	タテ 244.0 cm ヨコ 115.4 cm	絹本彩色 一軸	印有	慶応3年 (1867)	林雲達は、書に堪能な商人とされている。文久3年(1863)に長崎に渡航、明治16年頃まで滞在し、文人墨客らと交流を重ねていたとされる。 税官吏時代に制作
110	鶴亭 青線入り画① 「梅に鳥」*	タテ 191.0 cm ヨコ 56.0 cm	紙本水墨 一軸	印有	不明	表装の風帯などが、青線で描きこまれており、表装の途中であろう。 描かれている鳥は、叭叭鳥(ハッカチョウ)と思われる。
111	鶴亭 青線入り画② 「双鯉」*	タテ 173.0 cm ヨコ 44.3 cm	紙本淡彩 一軸	印有	不明	表装の風帯などが、青線で描きこまれており、表装の途中であろう。 ライデン博物館所蔵の鯉図と構図が類似している。
112	鶴亭 表装前画① 「表装前山水画」	タテ 119.0 cm ヨコ 51.5 cm	紙本水水墨 一軸	無	不明	表装の風帯などの位置が示しており、表装前の画と思われる。
113	鶴亭関連① 「長崎古今学芸書画博覧表」	タテ 115.0 cm ヨコ 41.6 cm	紙印刷 一幅	無	明治13年	「長崎古今学芸書画一覽表」(明治13年3月版)の著者 西省吾によると、鶴亭は、“油絵ヲ善クス 南宗モ亦觀ルヘシ 明治十二没 ”と評している。
114	鶴亭関連② 「山口県指定文化財(鶴亭のガラス絵)資料」	図録 タテcm ヨコcm	図録など	無	平成2年 1月	山口県教育委員会刊「山口県の絵馬」2冊・写真・指定文化財提案書 文化財指定は、平成2年11月 ガラス絵の制作年は、嘉永3年(1850)とされる。 唐船掛宿町筆者 本役時代に制作
115	鶴亭印鑑箱 「柿文様 印鑑箱」	タテ 55.0 cm ヨコ 11.1 cm 高さ 4.7 cm	革製 一箱	無	不明	No.117~124の印鑑が収められている。
116	鶴亭印鑑① 「鶴亭 1」	タテ 1.1 cm ヨコ 1.6 cm	一個 片面彫		不明	白文字
117	鶴亭印鑑② 「鶴亭 2」	径 4.1 cm	一個 片面彫		不明	朱文字

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
118	鶴亭印鑑③ 「鶴亭・画印」	タテ 1.6 cm ヨコ 0.8 cm	一個 片面彫		不明	鶴亭：白文字 画印：朱文字
119	鶴亭印鑑④ 「鶴亭画印・○」	タテ 2.4 cm ヨコ 1.4 cm	一個 両面彫		不明	鶴亭画印：白文字 ○：白文字
120	鶴亭印鑑⑤ 「人外之○・鶴亭字又新」	タテ 2.3 cm ヨコ 2.2 cm	一個 両面彫		不明	人外之○：白文字 鶴亭字又新：白文字
121	鶴亭印鑑⑥ 「鶴亭 3」	タテ 1.7 cm ヨコ 1.7 cm	一個 片面彫		不明	鶴亭：白文字
122	鶴亭印鑑⑦ 「又新之印・鶴亭」	タテ 1.2 cm ヨコ 1.2 cm	一個 両面彫		不明	又新之印：白文字 鶴亭：朱文字
123	鶴亭印鑑⑧ 「鶴亭・○」	タテ 2.2 cm ヨコ 1.2 cm	一個		不明	鶴亭：白文字 ○：白文字
124	玉木家三代目(順喜)関連① 「伝 渡辺秀石筆 玉木順喜像」	タテ 173.0 cm ヨコ 48.5 cm	紙本彩色 一軸	無	不明	渡辺秀石：寛永 16 年(1639)~宝永 4 年(1707)は、唐絵目利の祖である。 玉木順喜像の由来について、「玉木家記」に記述されている。
125	玉木家三代目(順喜)関連② 「順喜 辞世句他 1」	タテ 43.1 cm ヨコ 105.8 cm	紙本墨書 一幅	無	江戸中期 以降か	
126	玉木家三代目(順喜)関連③ 「順喜 辞世句他 2」	タテ 43 cm ヨコ 106.3 cm	紙本墨書 一幅	無	江戸中期 以降か	
127	玉木家三代目(順喜)関連④ 「順喜 辞世句他 3」	タテ 43.0 cm ヨコ 107.9 cm	紙本墨書 一幅	無	江戸中期 以降か	

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
128	玉木家三代目順喜関連⑤ 「 <small>かづえのかみ</small> 青木主計頭「富士山」」	タテ 111.5 cm ヨコ 69.3 cm	紙本墨画 一軸	無	江戸中期か	青木主計頭：明暦2年(1656)~享保9年(1724)は、江戸前期の吉田流神道家。長崎の諏訪神社の神官。
129	鶴亭遺墨展① 「立花素嵐「竹」*」	タテ 197.0 cm ヨコ 46.6 cm	紙本水墨 一軸	印有	大正12年 (1923)	立花素嵐は、立花鉄嵐の息子であろう。立花鉄嵐は、僧鉄翁に師事して、南画の法を学んだとされている。
130	鶴亭遺墨展② 「萩原魚仙「香魚」*」	タテ 189.0 cm ヨコ 55.0 cm	絹本水墨 一軸	印有	大正12年 (1923)	香魚は、鮎の別名 萩原魚仙は、「グラバー図譜」(魚譜)の制作者のひとり この他にNo.141の画もある。
131	鶴亭遺墨展③ 「樋口景堂画「梅」*」	タテ 197.5 cm ヨコ 46.3 cm	紙本水墨 一軸	印有	大正12年 (1923)	樋口景堂は、諫早市の日本画家とされる。 この他にNo.142の画もある。
132	鶴亭遺墨展④ 「松田龍窟「桃花流水」」	タテ 137.4 cm ヨコ 33.5 cm	紙本淡彩 一幅	印有	大正12年 (1923)	松田龍窟は、長崎市発心寺の梵鐘の鐘銘の書を記したとされている。
133	鶴亭遺墨展⑤ 「萬木梧堂「富貴百齡図」*」	タテ 137.0 cm ヨコ 34.0 cm	紙本淡彩 一幅	印有	大正12年 (1923)	萬木梧堂は、長崎の書家 藤森桂谷の「富貴百齡」と酷似している。 この他にNo.143の画もある。
134	鶴亭遺墨展⑥ 「追悼書画集1」	タテ 30.8 cm ヨコ 25.1 cm	紙折本 一冊	印有	大正12年 (1923)	23名による書と画が収められている。
135	鶴亭遺墨展⑦ 「追悼書画集2」	タテ 31.0 cm ヨコ 20.6 cm	紙折本 一冊	印有	大正12年頃 (1923)	13名による書と画が収められている。
136	鶴亭遺墨展⑧ 「松原三悟「玉木鶴亭像」」	タテ 194.0 cm ヨコ 53.3 cm	絹本彩色 一軸	印有	大正12年頃 (1923)	松原三悟：元治1年(1864)~昭和21年(1946)は、岡山県師範学校・大阪師範学校などで、図画教員を歴任。画塾 天彩塾を設立し、多くの門人を輩出したとされる。
137	玉木家交流 長崎人 江上瓊山① 「江上瓊山①「墨竹」」	タテ 140.0 cm ヨコ 45.6 cm	紙本水墨 一軸	印有	明治36年 (1903)	江上瓊山：文久(1862)~大正13年(1924)は、長崎生まれの画家。明治24年(1891)にロシアのニコライ2世が長崎訪問の折、彩筆を揮う。明治40年に京都に移住。明治皇后へ瓊山の画が献上されたという。

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
138	玉木家交流 長崎人 江上瓊山② 「江上瓊山②「朱竹」	タテ 140.0 cm ヨコ 45.6 cm	紙本朱墨 一軸	印有	大正 10 年 (1921)	江上瓊山：文久(1862)~大正 13 年(1924)は、長崎生まれの画家。明治 24 年(1891)にロシアのニコライ 2 世が長崎訪問の折、彩筆を揮う。明治 40 年に京都に移住。明治皇后へ瓊山の画が献上されたという。 No.137 と 138 は、同木箱に納められている。
139	玉木家交流 長崎人 江上瓊山③ 「江上瓊山③「崖の蘭」	タテ 182.0 cm ヨコ 54.5 cm	絹本水墨 一軸	印有	大正 6 年 (1917)	
140	玉木家交流 長崎人 大久保玉珉 「大久保玉珉「富士山」	タテ 37.0 cm ヨコ 45.5 cm	絹本水墨 一幅	印有	明治 36 年 (1903)	大久保玉珉：明治 7 年(1874)~昭和 22 年(1947)は、五島富江生まれの近代日本画家。 長崎に近代日本画を初めて導入した先駆者とされている。
141	玉木家交流 長崎人 萩原魚仙 「萩原魚仙「鯉」	タテ 188.5 cm ヨコ 54.3 cm	絹本水墨 一軸	印有		鶴亭遺墨展揮毫者のひとり 遺墨展の画は、No.130 魚仙については、No.130 の備考参照
142	玉木家交流 長崎人 樋口景堂 「樋口景堂「牡丹竹」	タテ 196.5 cm ヨコ 46.3 cm	紙本淡彩 一軸	印有		鶴亭遺墨展揮毫者のひとり 遺墨展の画は、No.131 景堂については、No.131 の備考を参照
143	玉木家交流 長崎人 萬木梧堂 「萬木梧堂「芭蕉」	タテ 202.0 cm ヨコ 51.3 cm	紙本淡彩 一軸	印有		鶴亭遺墨展揮毫者のひとり 遺墨展の画は、No.133 梧堂については、No.133 の備考を参照
144	玉木家交流 長崎人 古閑貞雄① 「古閑貞雄①「日の丸」	タテ 134.5 cm ヨコ 34.5 cm	紙本淡彩 一幅	印有	昭和 15 年 11 月 10 日 (1940)	古閑貞雄の生没は不明だが、昭和 10 年に大長崎新聞社出版部から「足跡：歌集」の出版がされている。 皇紀 2600 年の記載あり(皇紀 2600 年は、神武天皇の即位から 2600 年にあたる記念日) No.144 の画中の「八紘一字」は、第二次世界大戦中の大東亜共栄圏の建設標語のひとつ。
145	玉木家交流 長崎人 古閑貞雄② 「古閑貞雄②「富士山」	タテ 34.5 cm ヨコ 67.5 cm	紙本墨線 一幅	印有	昭和 15 年 11 月 10 日 (1940)	
146	玉木家交流 長崎人 古閑貞雄③ 「古閑貞雄③「お多福」	タテ 135.7 cm ヨコ 34.5 cm	紙本淡彩 一幅	印有	昭和 17 年 元旦 (1942)	
147	玉木家交流 長崎人 古閑貞雄④ 「古閑貞雄④「アコウ鯛」	タテ 34.5 cm ヨコ 67.0 cm	紙本淡彩 一幅	印有	昭和 17 年 初夏 (1942)	

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
148	玉木家交流 長崎人 古閑貞雄⑤ 「古閑貞雄⑤「富貴国光」」	タテ 135.0 cm ヨコ 67.0 cm	紙本淡彩 一幅	印有	昭和 17 年 猛暑 (1942)	
149	玉木家交流 長崎人 杉山徳三郎① 「杉山徳三郎①「玉木女学校新築祝書 1」」	タテ 42.5 cm ヨコ 69.7 cm	紙本墨書 一幅	印有 署名有	大正 12 年 5 月 15 日 (1923)	杉山徳三郎：天保 10 年(1839)~昭和 5 年(1930)は、 筑豊の石炭産業の近代化に貢献した長崎の企業家 赤染の紙に書かれている祝書である。
150	玉木家交流 長崎人 杉山徳三郎② 「杉山徳三郎②「玉木女学校新築祝書 2」」	タテ 128.0 cm ヨコ 35.0 cm	紙本墨書 一幅	印有 署名有	大正 12 年 5 月 15 日 (1923)	
151	玉木家交流 長崎人 岳① 「岳① 書」	タテ 185.0 cm ヨコ 48.0 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	岳について、不詳
152	玉木家交流 長崎人 岳② 「岳②「梅竹」」	タテ 175.0 cm ヨコ 62.0 cm	紙本墨書 一軸	印有	昭和 19 年か 明治 17 年か	
153	玉木家交流 長崎人 吉田正夫① 「吉田正夫書①「教育勅語」」	タテ 198.0 cm ヨコ 46.9 cm	紙本墨書 一軸	印有 署名有	明治 23 年 (1891) 10 月 30 日	No.153 は、154 の賞状を写したものであろう。
154	玉木家交流 「教育勅語（賞状）」	タテ 90.0 cm ヨコ 45.0 cm	紙本(賞状) 一幅	無	明治 23 年 (1891) 10 月 30 日	
155	玉木家交流 長崎人 吉田正夫② 吉田正夫②「梅花」	タテ 198.0 cm ヨコ 46.9 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	
156	玉木家交流 長崎人 吉田正夫③ 吉田正夫③「開門」	タテ 198.0 cm ヨコ 46.9 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	
157	玉木家交流 長崎僧侶(皓台寺) 村上素道① 「村上素道書①」	タテ 30.0 cm ヨコ 64.0 cm	紙本墨書 一幅	印有 署名有	不明	村上素道師については、No.158 の備考を参照

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
158	玉木家交流 長崎僧侶(皓台寺) 村上素道② 「村上素道書②」	タテ 30.0 cm ヨコ 64.0 cm	紙本墨書 一幅	印有 署名有	不明	村上素道：明治8年(1875)~昭和39年(1964)は、長崎の皓台寺29世。昭和10年頃からはほぼ20年かけて、熊本県菊池市の聖護寺を再建したとされる。
159	玉木家交流 長崎僧侶(皓台寺) 村上素道③ 「村上素道書③」	タテ 136.0 cm ヨコ 34.8 cm	紙本墨書 一幅	印有 署名有	不明	
160	玉木家交流 長崎僧侶(皓台寺) 村上素道④ 「村上素道「青山元不動白雲自去来」」	タテ 193.5 cm ヨコ 43.4 cm	紙本墨書 一軸	印有 署名有	不明	
161	玉木家交流 長崎僧侶(妙相寺) 石田梅軒① 「石田梅軒「墨梅」」	タテ 196.0 cm ヨコ 46.0 cm	紙本水墨 一軸	印有	不明	石田梅軒は、妙相寺 副住職
162	玉木家交流 長崎僧侶(妙相寺) 石田梅軒② 「石田梅軒「ザクロ」」	タテ 188.5 cm ヨコ 64.5 cm	絹本彩色 一軸	印有	不明	
163	玉木家交流 京都万福寺僧侶① 「第44代 柏樹書「南無阿弥陀仏」」	タテ 212.5 cm ヨコ 46.0 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	第44代の在任期間 1911~1916年
164	玉木家交流 京都万福寺僧侶② 「第47代 直翁書」	タテ 210.5 cm ヨコ 47.0 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	第47代の在任期間 1925~1932年
165	玉木家交流 京都万福寺僧侶③ 「第48代 道義」	タテ 211.0 cm ヨコ 47.0 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	第48代の在任期間 1925~1932年
166	玉木家関連 来舶中国人画家 紅稼圃① 「 <small>こうかほ</small> 紅稼圃①「谿間の閑亭」」	タテ 172.0 cm ヨコ 43.4 cm	紙本水墨 一軸	印有	不明	紅稼圃：1755年~没年不詳は、文化元年(1804)から1815年まで数回来日長崎南画 興隆の基礎を築く
167	玉木家関連 来舶中国人画家 紅稼圃② 「 <small>こうかほ</small> 紅稼圃②「桃月の山水」」	タテ 124.4 cm ヨコ 59.5 cm	紙本水墨 一幅	印有	不明	

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
168	玉木家関連 中国輸入品 漢詩① 「朱熹①「詩書慶世長」	タテ 179.5 cm ヨコ 34.5 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	No.168 と 169 は、同じ木箱に納められている。箱の表に朱熹とある。朱熹は、朱子学の大成者 朱子である。
169	玉木家関連 中国輸入品 漢詩② 「朱熹②「忠孝持家遠」	タテ 179.5 cm ヨコ 34.5 cm	紙本墨書 一軸	印有	不明	
170	玉木家関連 中国輸入品 絵画① 「花売り娘」	タテ 81.1 cm ヨコ 38.5 cm	紙本淡彩 一幅	印有 署名有	不明	西湖玉田農と署名あり 張渥の図を模写したと記されている。
171	玉木家関連 中国輸入品 絵画② 「王学浩「仿雲林」	タテ 185.5 cm ヨコ 48.2 cm	紙本水墨 一幅	印有	不明	王学浩：1754年~1832年は、清代の画家とされる。
172	玉木家関連 絵画織(絵画のレプリカ) 「竹内栖鳳「城」	タテ 45.5 cm ヨコ 52.5 cm	彩色織画 一幅	印有	不明	竹内栖鳳：元治1年(1864)~昭和17年(1942)は、戦前の日本画家。近代日本画の先駆者で、戦前の京都画壇を代表する大家。
173	玉木家関連 池の坊花伝書 「松本記「池之坊 池花傳記」	タテ 26.3 cm ヨコ 19.5 cm	半紙綴本 一冊	署名有	弘化2年 (1845)	表紙・中表紙・第1丁表から第25丁裏・裏表紙
174	玉木家関連 日本画粉本 「土佐光起「富士山」	タテ 38.3 cm ヨコ 65.8 cm	半紙墨線 一幅	印有	不詳	土佐三起は、江戸時代の土佐派を代表する絵師
175	玉木家関連 墨書① 「點南書」	タテ 134.4 cm ヨコ 34.5 cm	紙本墨書 一幅	印有 署名有	昭和13年か	
176	玉木家関連 墨書② 「樹徳励行」	タテ 40.0 cm ヨコ 148.5 cm	紙本墨書 一幅	印有	大正12年か	玉木女学校のお祝いの書か
177	玉木家関連 墨書③ 「山岡鉄舟 書」	タテ 184.0 cm ヨコ 44.7 cm	紙本墨書 一幅	印有	不明	山岡鉄舟は、日本の武士(幕臣)、書の達人としても知られる。

No.	タイトル	寸法	体裁	印・署名	製作年	備考
178	玉木家関連 南画① 「沉閑 南画」	タテ 132.0 cm ヨコ 52.5 cm	紙本水墨 一軸	印有	不明	巳巳と記されているが、製作年・作者詳細不明
179	玉木家関連 南画② 「山水画」	タテ 149.5 cm ヨコ 46.5 cm	紙本水墨 一幅	印有	不明	
180	玉木家関連 英訳本 「英訳日本おとぎ話 「The Tongue Cut Sparrow」(舌切雀)」	タテ 15.2 cm ヨコ 10.3 cm	多色刷絵本 一冊	無	明治18年 (1885)発刊	全21頁 長谷川武次郎によって、舌切雀などを筆頭に、英文によるおとぎ話集が発刊される。和紙の多色刷絵本で、ちりめん布のような風合いを持った絵入り本。